

2019年3月定例自然観察会実施報告書

2019年3月14日

六甲山自然案内人の会 5班 上条 隆雄

1. 概要

日時：2019年3月10日（日）9:30~12:00

コース：藍那駅～（義経道）～相談ヶ辻～【中止（徳川道）～しあわせの村】

参加者：ビジター16名、会員23名（うち5班14名）

説明リーダー：上条、佐々木、松本

2. 観察会内容

当日は雨の天気予報で、問題はいつどのくらいの雨が降るかという状況のなかで担当5班以外の参加者としてビジター・会員が25名も参加していただいた。

スタート直後は雨はなく、かなり傾斜のある車道を上って畑・野原の観察場所に行く。

野原では、季節がら春の七草のコハコベとナズナをまず観察。1週間前には横の畑にスズナ（カブ）とスズシロ（大根）が植えられていて観察材料予定だったのが当日は何と全部収穫されており、少し寂しい春の七草観察だった。

周辺にはその他の野草としてヒメオドリコソウ・カキドオシ・オランダミミナグサ・トウダイグサ・ヤハズエンドウ・ヤエムグラが観察された。

もう少し先を行くと「あいな里山公園」の周辺林が現れる。かつては里山と呼ばれていた所だ。現在は里山放置林となっている。落葉系と常緑系が混在しており代表樹木は、落葉系ではコナラ・アベマキ、常緑系ではシラカシである。アラカシは案外少ない。その他冬芽に特長のあるタカノツメ、アカメガシワ等の説明をした。



11時頃になると雨が相当降り出し、あいな里山公園で昼食後、解散とした。

以上